

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

駅のホームやお店のレジの前で、人は自然に一列に並ぶ。誰かに命令されたわけでもないのに、後から来た人は列の最後につく。考えてみれば、これは不思議なことだ。
列には、目に見える線も囲いもない。あるのは、「先に来た人から順番に」という考えだけである。この考えを、その場にいる全員が知っていて、しかも全員が守るだろうと信じている。だから列は形を保つ。列を支えているのは、人と人との間にある目に見えない約束なのだ。

では、なぜ人はこの約束を守るのか。一つには、それが公平だと感じられるからだ。早く来た人が先に用をすませる。この順番には、誰もが納得できる理由がある。もし力の強い人や声の大きい人が先になるなら、人々は争って前に出ようとし、かえって全員的时间がむだになるだろう。

もう一つの理由は、自分もいつか助けられるということだ。今日、列の後ろで待つ人は、明日は列の前にいるかもしれない。約束を守ることは、自分が待つ番のときに、ほかの人も守ってくれることへの信頼と結びついている。

ところが、この約束はもうい。一人が割りこみ、それを誰もとがめなければ、「守らなくてもいいのだ」という空気が広がり、列はたちまち崩れてしまう。目に見えない約束は、守る人がいるあいだだけ存在するのである。

当たり前のように並ぶ一本の列は、多くの人が少しずつ自分を抑え、ほかの人を信じることで保たれている。その小さな信頼の積み重ねが、社会を動かしているのだと言えるだろう。

(この問題のための書き下ろし)

問一 筆者は、列を支えているものは何だと述べていますか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問二 「かえって全員的时间がむだになるだろう」とありますが、そう言えるのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 力の強い人は、用をすませるのが遅いから。
- イ 人々が争って前に出ようとし、順番が決まらなくなるから。
- ウ 声の大きい人ほど、長く話をするから。
- エ 列の最後の人、いつまでも帰れなくなるから。

問三 人が約束を守る「もう一つの理由」について、筆者は、約束を守ることとはどんなことへの信頼と結びついていると述べていますか。「へへの信頼」につながるように、本文中から三十字以内で抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問四 「目に見えない約束は、守る人がいるあいだけ存在する」とありますが、どういうことですか。本文の例をふまえて、四十五字以内で説明しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問五 筆者の考えとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 列を守るためには、係の人が見張る必要がある。
- イ 列は、多くの人が少しずつ自分を抑え、ほかの人を信じることで保たれている。
- ウ 列に並ぶのは時間のむだなので、別の方法を考えるべきだ。
- エ 力の強い人が先に進むほうが、社会はうまく動く。